

# モノレール



武蔵村山市 都市整備部  
都市計画課  
042-565-1111(代表)

## モノレール延伸にかかわる

### 平成20年度調査報告書まとまる

武蔵村山市では、平成20年度に多摩都市モノレールの早期延伸と、新青梅街道拡幅再整備の実現に向け各種事業を実施し、このたびその報告書をまとめました。

主な内容は以下のとおりです。

#### モノレールの早期延伸PR活動

##### パンフレットの作成

多摩都市モノレールの延伸を市民にPRするためパンフレットを作成し、市内の各種イベントでの配布や市内施設等への設置によって、市民啓発及びPR活動を行いました。



##### 絵画コンクールの実施

武蔵村山市の児童・生徒にモノレールの必要性と将来のまちづくりを考えていただく機会とし、絵画コンクールを実施しました。

応募作品600点のなかから入選作品32点を広く市民に公表し、また最優秀作品2点はパンフレットなどに掲載するなど、モノレール延伸に対する市民意識の向上に努めました。

#### 平成20年度最優秀作品



篠田美咲さん(市立四中)



宮地賢くん(市立八小)

## シンポジウムの開催

市民のモノレール早期延伸に対する声を吸い上げ、要望活動につなげていく活動の一環として『モノレールを呼ぼう！』延伸へ向けたシンポジウムを開催しました。

当日は、多くの市民や市外から来られた方々で会場は盛況となり、モノレール延伸への期待の大きさが明らかとなりました。今後もこのような活動を通じ、市民の悲願である早期延伸に向け進んでいきたいと考えています。



会場雰囲気

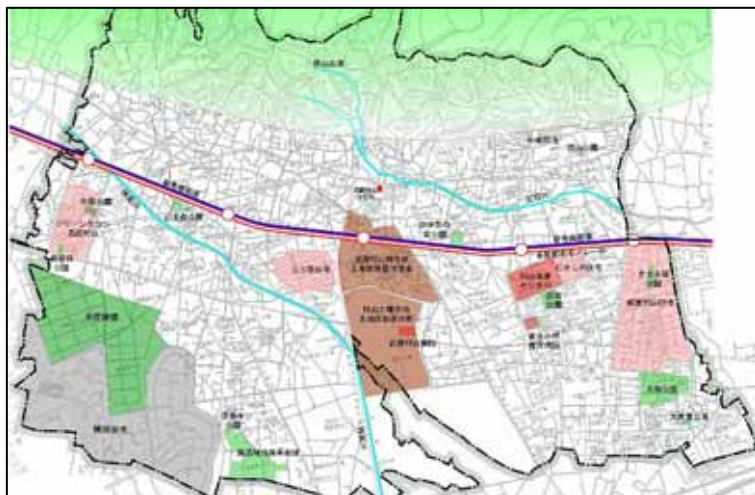
## 新青梅街道沿道整備の検討

### 新青梅街道沿道のまちづくり

多摩地域の主要幹線道路である立川都市計画道路3・2・4号新青梅街道線（新青梅街道）は、平成17年3月11日付で計画幅員を18mから30mにする都市計画変更がされ、平成18年4月に公表された「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」の中で、環境軸としても位置付けがなされました。環境軸については、平成19年6月に東京都が「環境軸ガイドライン」を公表し、「つなげる」「広げる」「守り育てる」という3つのコンセプトのもと、現在、環境軸推進計画書の策定に向けた調整を行っています。

新青梅街道の拡幅については、都市計画変更の決定はされていますが、東京都による事業化がされていないこともあり、沿道の用途地域や環境軸の推進など、沿道地域のまちづくりについて考えていく必要があります。

また、新青梅街道は多摩都市モノレールの導入空間となり得ることから、新青梅街道を環境軸として形成していくためには、多摩都市モノレールを前提としたまちづくりと整合を図ることが必要となってきます。



【新青梅街道と多摩都市モノレールの想定ルート図】

### 環境軸とは

都市施設（道路、公園、河川など）の整備等を契機とし、これら骨格となる都市施設と周辺のまちづくりを一体として、オープンスペースや、広がりや厚みをもった豊かなみどりなどにより形成される、「ゆとりと潤いある良好な都市空間」

## 新青梅街道環境軸整備検討

「環境軸」は、都市施設の機能や規模、周辺の土地利用状況などに応じ、様々なバリエーションが考えられることから、おおむね10年以内に公共施設の整備完了が見込まれる事業が施行されている地区を中心に、3つのテーマから15のモデル地区が示されています。

新青梅街道は、このテーマの中で、「街と自然をつなぐみどりのネットワーク」として、「広幅員の道路や自然豊かな河川などにより、広大な森や海などの自然とにぎわいのある街をつなぎ、みどりのネットワークと広がりをもたせていくモデル」の一つに位置付けられています。

コンセプトは「つなげる」「広げる」「守り育てる」の3つが該当し、みどりあふれるまちなみづくりが期待される路線や、良好な都市空間と広大な森をつなぐ、みどりのネットワークの形成が期待されています。



【環境軸（新青梅街道）の内容】（出典：「環境軸ガイドライン」平成19年6月 東京都）

## 今後の課題

### モノレール延伸活動について

- ・公共交通に対する需要の程度を確認する必要がある
- ・駅ができた時の土地利用の方針を計画しておく必要がある
- ・公と民との連携を深めるため、協力して延伸を考える場が必要である
- ・モノレールに関係する、武蔵村山市以外の地域の方々との連携を図ることが必要である

### 新青梅街道整備検討について

- ・上位・関連計画の整理及び新青梅街道沿道地域の現状を正しく把握することが必要である
- ・沿道状況の把握とともに、モノレールに関する市民の要望も汲みながら、沿道地域の位置付けについての整理を行うことが必要である。

- ・今後の新青梅街道沿道における環境軸形成への取組として、「保全」「阻害」「不足」の視点で沿道地域における課題を整理することが必要である
- ・環境軸形成に向けた具体的な方策についても整理する必要がある。
- ・今後の沿道まちづくりの参考事例（先進地）に関する資料収集・整理が必要である。

#### 調査報告書をご覧になりたい方は

多摩都市モノレール関連都市計画変更調査 「多摩都市モノレールの市内延伸PR活動及び新青梅街道拡幅整備、環境軸等に関する支援業務委託」は都市整備部都市計画課窓口で閲覧できます。

また、「概要版」は、下記のページに掲載してありますのでご覧ください。

<http://www.city.musashimurayama.tokyo.jp/whats/monorail.html>

## 平成21年度事業

平成20年度調査結果から、引き続き市民と協働した活動を充実させ、新青梅街道拡幅再整備の課題解決に向け、次の事業を展開することとしています。

### 新青梅街道沿道まちづくりの検討調査及びモノレール延伸活動に関する業務

#### 1. 新青梅街道沿道のまちづくり方針と環境軸形成に向けた方策の検討

新青梅街道沿道地域を対象

#### 2. 多摩都市モノレールの市内延伸PR活動

イベント等PR活動

- ・ デエダラまつり参加
- ・ モノレール絵画コンクール
- ・ 村山デエダラまつりへの参加

### 「市民の会」設立準備の動き

モノレールの市内延伸を目指し、関係機関への要望活動や促進活動などを行う組織「市民の会」の立ち上げに向け、現在、市内関係者の皆様方が、協議調整中とのことです。

武蔵村山市といたしましては、モノレールの延伸は最重要課題であるため、この会が設立され、市民の皆様と協働し促進活動を展開できるよう、支援を行っていきたいと考えています。



「ものれーる」に対するご意見・ご感想を是非お寄せください。

Eメールでの投稿 [m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp](mailto:m-murayama@city.musashimurayama.tokyo.jp)